

平成24年1月7日

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人

在宅支援グループ優友

### 1. プロジェクト名

映画「星の国から孫ふたり」上映会
------------------

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

昨今「自閉症」という言葉はよく聞かれるようになりましたが、どんな障害かはわかっていない方がほとんどです。この映画が「自閉症」への理解を深めるきっかけになれば、と願っています。
---

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

この映画は、自閉症の兄妹の成長や家族の葛藤、地域とのかかわりを、祖母の立場から、前向きに温かく見守ることを描いています。この映画を、ひとりでも多くの方、特に一般の方に観ていただき、自閉症への理解、障害をもっている家族の思いを考えるきっかけにしたいと思っています。
---

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

東久留米市・東久留米市社会福祉協議会の後援をいただきました。チラシは、市子育て支援課を通して、各児童館・学童・保育園に配布しました。また、スタッフの知り合いや団体に配布しました。ポスターも市役所・公民館・地域センターに掲示しました。映画配給会社のホームページにも掲載していただきました。鑑賞人数は、約200名の方にきていただくことができました。
--

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

初めての映画会で、チラシ・ポスターの配布など多くの方に協力してもえました。事前申し込みもなかったため、人数に不安がありましたが、優友の関係者以外の方に多くきていただくことができ、目的は達成されたと思っています。アンケートによる集計によると、自閉症をしらない方が多く、「自閉症のことがよくわかった」「とてもいい映画だった」という感想を得られました。
---

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。	参考資料あり・特になし
---	-------------

監督 榎坪亨鶴子

代表作「老親ろうしん」「母のいる場所」  
自立と共生をテーマに7作品を製作・監督



人は地域の中で、様々な人とふれ  
合い、支え合える環境があれば、障害  
があるなしに関係なく、「その人らし  
く生きること、成長づけることが、  
夢ではない」と信じています。

この映画は、全国各地からの多くの方々のご支援、ご協力で  
完成しました。感謝申し上げます。

# 星の国から孫ふたり

～「自閉症」児の贈りもの～

原作 門野 晴子

『星の国から孫ふたり』-パークレーで育つ「自閉症」児-  
「ギフトティッド・チャイルド」～「自閉症」児からの贈りもの～

重い障がい生きる榎坪監督が、拙著の「星の国から孫ふ  
たり」を映画化するのがとてもうれしい。いわゆる障がいも  
のには絶対ならない監督の人間観が、「面白くて可愛い不思議  
な生きもの」に映像の息吹を与える楽しみ。

実際の私の孫たちは米・パークレー市に住む日米ミックス  
の異星人だが、映画では日本人に置き替えたことでよりリア  
リティを帯びた。

不思議ないのちがりのままの個性としてこの国に受容さ  
れる日まで、私も監督もはたして生きていられるや否や？

## ものがたり

作家の太田弓子（馬淵晴子）はパークレーから帰国した娘の陽子  
（加藤忍）、その夫の敏夫（比留間由哲）、3歳になる孫のかおると  
久しぶりに再会した。だが、かおるは、まだおむつも取れず、「プー  
ラベン ..... デュワイン！」とまるで宇宙語のような言葉を発し、医  
者に診てもらおうと「自閉症の疑いがある」との診断。仕事人間の夫は、  
「子育てに問題があるのでは」と陽子を責める.....。

一方、弓子は「自閉症って不思議がいっぱい」と前向きに日々  
のかおるの成長を見守る。そこに、パークレーから、発達障害の専門家・  
村井ひとみ（乾貴美子）が訪れ、「アメリカでの積極的な自閉症（オー  
ティズム）への早期発見、早期療育の取り組みは人々が勝ち取って  
きた」と語る。弓子の息子・拓也（ミョンジュ）は、ひとみとスカ  
イプで交信しながら発達障害の専門家になる勉強を始める。そんな  
時、妹のらんも自閉症だと認定されてしまう。再びゆれる家族.....。

らんは、幼稚園に、かおるは小学校の特別支援学級に入学する。  
かおるはそこで母をなくし心を閉ざしたマリアと出会う。「自分本  
位と言われている自閉症のかおるがマリアを想って泣いた！」かお  
るの初恋だと喜ぶ陽子達。「みんなに、もっと、かおるとらんのこと、  
自閉症について知ってもらおう」と弓子達は地域の人たちへ支援の  
輪を広げるために街に出る。



この映画は自閉症の特徴をうまく表現して、あるべき  
支援の仕方を提示している点で、ぜひ鑑賞して欲しい作  
品である。

つとも、孫を「星の国からの贈りもの」ととらえ、自閉症  
を肯定的にとらえている。同年齢の子どもと比較して  
「何処が違っているか?」ではなく、「その子どもに目を  
向け、何処がよくなったか?」に着目することは重要な  
ことである。



監修 市川宏伸  
都立小児総合医療センター顧問

何年かぶりに帰国した娘は、コ  
ミュニケーションが難しい孫と二緒  
であった。続いて生まれてきた妹も  
自閉症を疑われた。



主演 馬淵晴子

乾 貴美子

ミョンジュ

障がいのある方にも、優しく暮らせる社会は、誰に  
とっても豊かな社会です。日本には、無意識のうちに  
同じもの、同じ生き方を求める文化があります。しか  
し本来、人それぞれの違いや良さを発見し、認め合う  
ことが大切です。

子どもに関わるすべての方に、ぜひ一度見ていただ  
きたい映画です。



監修 星山麻木  
明星大学教育学部教育学科教授

映画「星の国から孫ふたり」は、  
自閉症という見た目にはわかりに  
くい違いのある子ども達を、懸命  
に育てているご家族の視点から理  
解を深める、心温まる映画です。

製作 『星の国から孫ふたり』 製作委員会

企画制作 パオ (有)  
www.pao-jp.com

〒156-0044 東京都世田谷区赤堤2-43-13-531  
TEL.03(3327)3150 FAX.03(5376)8462

真如苑助成事業

平成23年12月4日(日)

開場 13:30 開演 14:00

会場 まろにえホール 〈入場無料〉

(東久留米市生涯学習センター)

お問い合わせ先

NPO法人 在宅支援グループ 優友

TEL 042-452-7938

後援: 東久留米市・東久留米市社会福祉協議会



